

鹿児島県出水・高尾野地域には三万羽を超えるツル類が飛来し、越冬しています。

これは、出水地域の住民の保護と共存の努力の成果なのですが、

ツル類が二か所に集中して越冬していることによる問題もでてきました。

それは、伝染病が大発生した場合に、「極集中している」と

ツル類の激減につながってしまう危険性です。

韓国西海岸で出水のツル類と同じように集中して越冬している「トモエガモ」が

約三万羽も死亡したことでその心配は大きくなっています。

このようなことが出水地域のツルに起きる前に、

出水以外のいくつかの地域にツルが分散して越冬できるようにすることが、必要になっていきます。

伊万里湾に ツルの 越冬地を

環境省・

鹿児島県

ナベツル

伊万里市、

伊万里湾東山代干拓(長浜干拓)へのツルの定着を目指して活動をはじめ、

二〇〇二―二〇〇三年の冬には七羽、

二〇〇三―二〇〇四年の冬には五羽のマンヅルが長浜干拓で越冬しました。

また、ツルの越冬地である長浜干拓の対岸には、

全国的にもめずらしい、カブトガニ(通称・はちがめ)の産卵地もあり、

人とツルとカメが共存できるような自然豊かなまちづくりを目指します。

農林水産省・文化庁は、

出水・高尾野地域に集中して越冬している

とマンヅルを他地域へと越冬分散させようとしています。

伊万里鶴の会、日本野鳥の会はそれに協力して、二〇〇二年から、

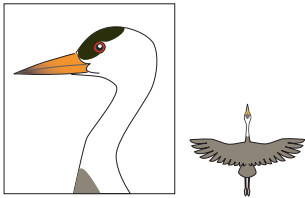


伊万里湾にやってくるツルたち

伊万里にやってくるツルには、ナベヅルとマナヅルの2種がいます。両種とも、鹿児島県出水・高尾野地域が世界最大の越冬地になっています。繁殖地の中国東北部やロシア極東域から朝鮮半島を経て出水地域に渡っていく渡り経路が伊万里湾の上をとっています。伊万里湾はツル類の好適な生息地になっているために、それを見つけたツルが伊万里湾に降りるのです。



繁殖地(アムール川流域)

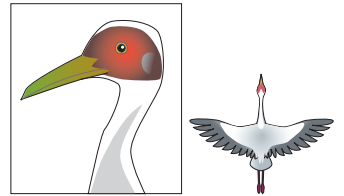


ナベヅル

全長96cm

世界の推定個体数 1万羽

ロシアと中国東北部のアムール川およびウスリー川流域より北の森林地帯内の湿地で繁殖、世界の8~9割が鹿児島県出水地域で、少数が山口県周南市で越冬する。伊万里湾では、現在は渡りの中継地としての利用のみだが、今後、越冬することが期待できる。



マナヅル

全長127cm

世界の推定個体数 6千羽

ロシア極東と中国東北部のアムール川流域からモンゴル中央部にかけて広がる広大な湿地で繁殖する。世界の約半数が鹿児島県出水地域で越冬し、残りの半数は揚子江中流で越冬。伊万里湾でも2年連続して越冬した。



伊万里湾へツルを招く試み

伊万里湾にツルを招くには、ツルが安心して滞在できるようにするとともに、十分な食物を得ることができるよう、採食環境を整備し、安心して眠ることができるように、ねぐら環境を整備する必要があります。また、良い環境だということが上空を通過するツルにわかるように「宣伝」することも重要です。伊万里市と伊万里鶴の会、日本野鳥の会は、以下のようなことで、伊万里湾へツルを招こうとしています。



ツルが安心できる環境づくり

ツルは警戒心の強い鳥です。特にまだ越冬地としての歴史の浅い伊万里湾でのツルはかなり臆病です。そこで、立ち入りの自粛と銃猟の禁止をお願いし、ツルが安心できる環境をつくっています。



たんすい 温水ねぐらの設置

ツルは浅い水域でねぐらをとりますが、湿地の減った現在、そのような場所がほとんどありません。そこで田んぼに水を張って、ねぐらをつくっています。

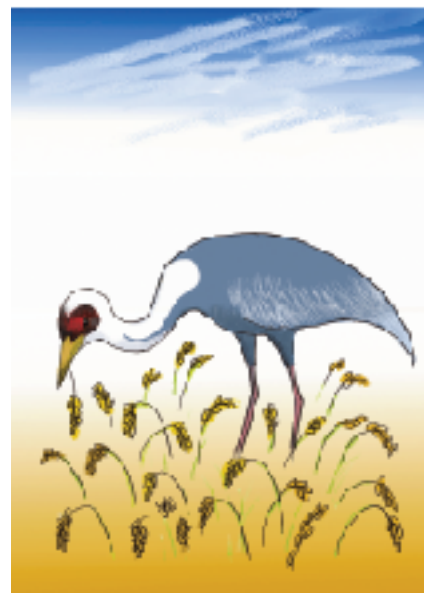


採食環境づくり

ツルは穀物や魚などを食物としています。特に越冬期間は穀物を主食としています。そのようなツルにとって、収穫後に再度芽生え、穂を実らす「二番穂」が格好の食物となります。収穫後の施肥等で二番穂が実るように工夫をするるとともに、ツルの定着を促進するために給餌も行なっています。

デコイとスピーカーの設置

上空を通過するツルが、伊万里湾を最適な場所だと認識できるよう、ツルの実物大の模型(デコイ)を設置しています。また、伊万里西ロータリークラブから寄贈いただいたスピーカーを使ってツルの声をながし、ツルを呼び寄せます。



伊万里のツル飛来地・長浜干拓へのアクセス

2002-2003年の冬には1月中旬から7羽、
2003-2004年の冬には、12月末より5羽
のマナヅルが長浜干拓(東山代干拓)で越冬
しました。

今年の冬も同じくらいの時期から越冬のため
に飛来すると思われます。地図の●の場
所よりツルを観察することができます。

ツルは警戒心の強い鳥ですので、この観察
ポイント以外には立ち入らないよう、
ご協力をお願いいたします。



幅の狭い住民の方の生活道です。
住民の方の迷惑にならないように十分にご注意ください。

財団法人日本野鳥の会自然保護室
〒191-0041 東京都日野市南平2-35-2
Tel: 042-593-6872 Fax: 042-593-6873
E-mail: hogo@wbsj.org
<http://www.wbsj.org/nature/kisyou/crane/>

伊万里市農林水産課
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1
Tel: 0955-23-2111 Fax: 0955-22-4562
<http://www.city.imari.saga.jp>

企画編集: NPO法人バードリサーチ
デザイン・イラスト: 重原美智子